

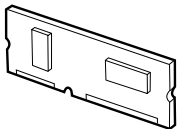
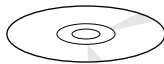
ファックス機能のアップグレード作業を行われる方へ

このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、LP-M5500F のファックス機能をアップグレードするためのキットです。
下記に本製品の使用方法をご案内いたします。

製品をお使いになる前には、必ず LP-M5500F に同梱されている「セットアップガイド」（紙マニュアル）の「製品をお使いいただく前に」をお読みください。本製品を安全にお使いいただくために必要な項目が記載されています。

同梱部品

すべての物がそろっていること、それぞれに破損がないことを確認してください。

<input type="checkbox"/> ROM モジュール 1 個 	<input type="checkbox"/> CD-ROM 1 枚 	<input type="checkbox"/> 本書 <input type="checkbox"/> 送付ご案内
---	--	---

アップグレード作業の流れ

以下のステップでアップグレード作業を行います。
作業にはコンピュータと USB ケーブル、プラスドライバーが必要ですので、あらかじめご用意ください。
なお、手順 1 と手順 5 は Windows 環境のコンピュータで行う必要があります。

手順 1 : ファックス宛先登録データのバックアップ
(Windows 環境のみ) 2 ページ



手順 2 : ROM モジュールの交換 3 ページ



手順 3 : ファームウェアとファックス制御プログラムの更新 6 ページ



手順 4 : アップグレード完了の確認 7 ページ



手順 5 : バックアップした宛先登録データの読み込み
(Windows 環境のみ) 8 ページ

アップグレード手順

アップグレード作業を行う前に、コンピュータに本機のプリンタドライバがインストールされていることを確認してください。

プリンタドライバのインストール方法は、本機に同梱されている「セットアップガイド」（紙マニュアル）を参照してください。

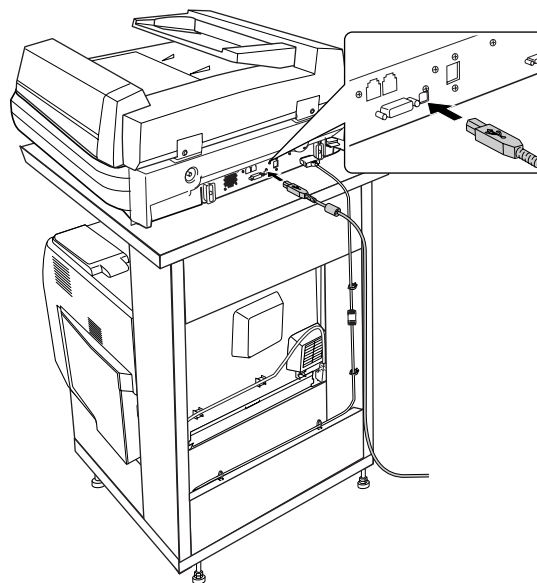
1. ファックス宛先登録データのバックアップ(Windows 環境のみ)

本機に短縮ダイヤルやグループダイヤルを登録してある場合は、アップグレードを行う前に登録データのバックアップを行います。

バックアップ作業を行うためには、本機に同梱されている「EPSON Speed Dial Utility」がインストールされている必要があります。インストール方法は、本機に同梱されている「活用ガイド」（紙マニュアル）を参照してください。

なお、EPSON Speed Dial Utility はエプソンのホームページ（<http://www.epson.jp>）からダウンロードしていただくこともできます。

- 1 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続します。



- 2 [スタート] – [すべてのプログラム] (または [プログラム]) – [EPSON Speed Dial Utility] – [Speed Dial Utility] をクリックします。

- 3 [編集] – [登録情報編集] をクリックして本機から宛先情報を取り込み、保存します。

操作方法の詳細については、EPSON Speed Dial Utility のヘルプを参照してください。

！注意

アップグレード作業を行うとファックスに関する設定が初期化されるため、宛先登録データは消去されてしまいます。

現在の登録・設定状況を確認するため、アップグレード作業の前に下記の手順で FAX 設定リストと短縮登録リストを印刷しておくことをお勧めします。

参考

FAX 設定リストの印刷方法

- ① [ファックス] ボタンを押します。
- ② [拡張] ボタンを押してから、[FAX 情報] を選択して [▶] ボタンを押します。
- ③ [FAX 設定リスト印刷] を選択して [▶] ボタンを押します。

短縮登録リストの印刷方法

- ① [ファックス] ボタンを押します。
- ② [拡張] ボタンを押してから、[FAX 情報] を選択して [▶] ボタンを押します。
- ③ [短縮登録リスト印刷] を選択して [▶] ボタンを押します。

2.ROM モジュールの交換

⚠警告

指示されている箇所以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり、感電の恐れがあります。指示以外のネジは取り外さないでください。

⚠注意

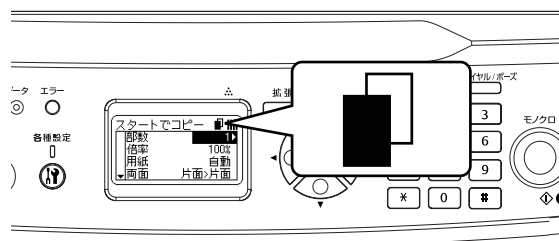
本作業は必ず電源コードを抜いた状態で行ってください。感電や故障の原因となるおそれがあります。

！注意

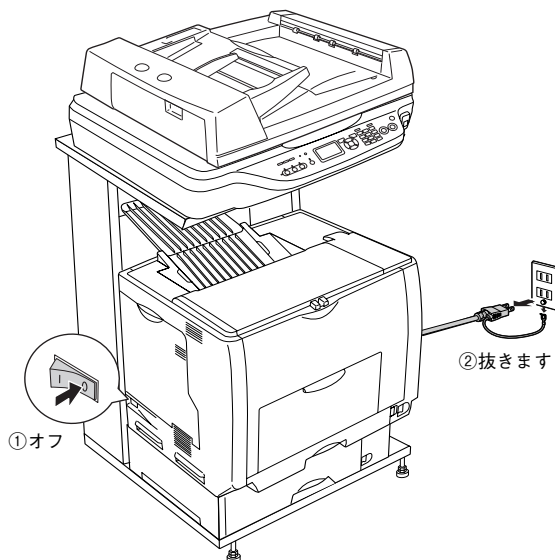
ROM モジュールの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、設置されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

1 本機の操作パネルで、受信ファックスデータが残っていないか確認します。

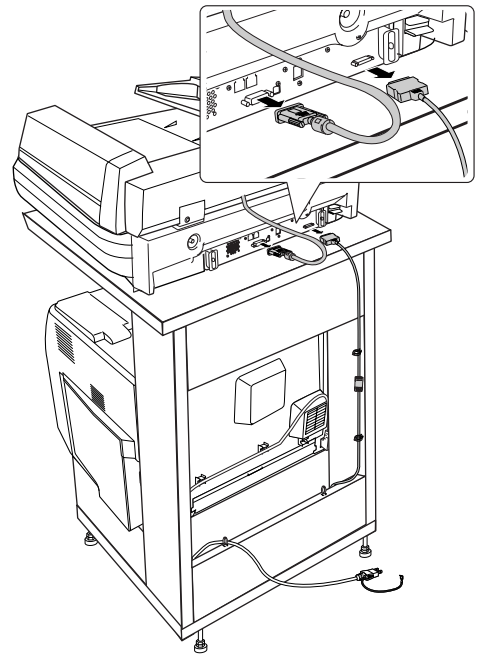
操作パネルに右図のアイコンが表示されている場合は受信データが残っていますので、アイコンが消えるまで待ちます。



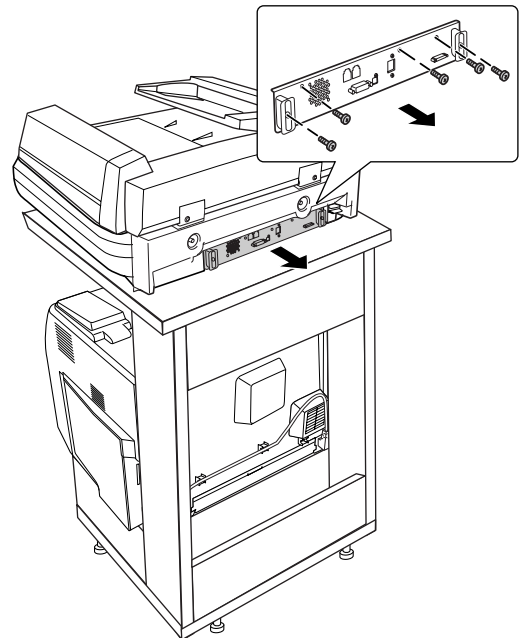
2 本機の電源をオフ (○) にし、電源コードをコンセントから抜きます。



3 接続されている専用ケーブルを取り外します。

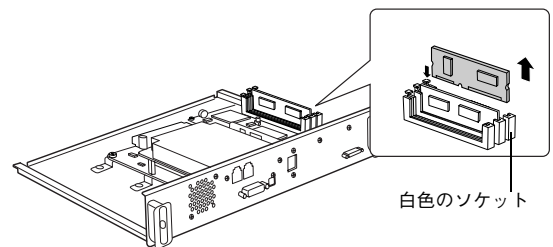


4 背面カバーのネジ (5 本) を外して、背面カバーを取り外します。



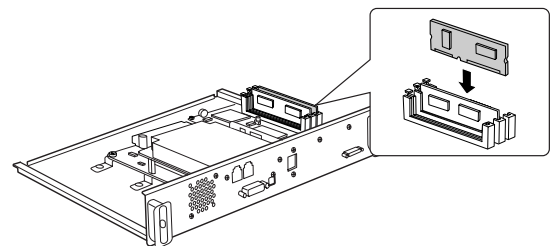
5 ROM モジュールを取り外します。

- ソケット (右端の白色のソケット) 端のボタンを押して、ROM モジュールをソケットから浮かせます。
- ROM モジュールを取り外します。



6 交換用 ROM モジュールを取り付けます。

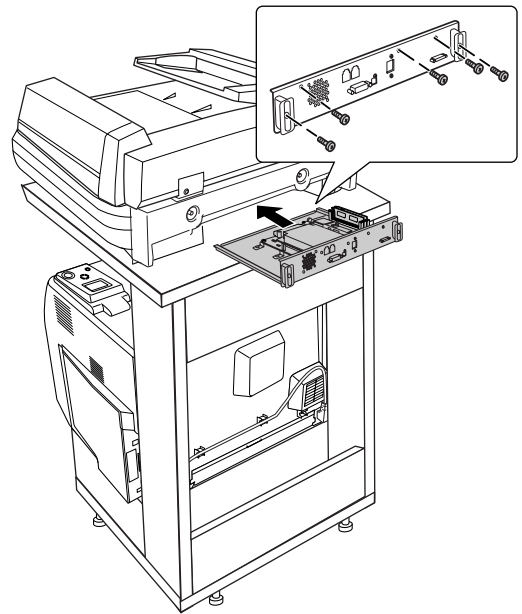
- ROM モジュールの切り欠きの位置をソケットに合わせ、まっすぐソケットに差し込みます。
- ソケット端のボタンが飛び出すまで ROM モジュール上部両端をゆっくりと均等に押し込みます。



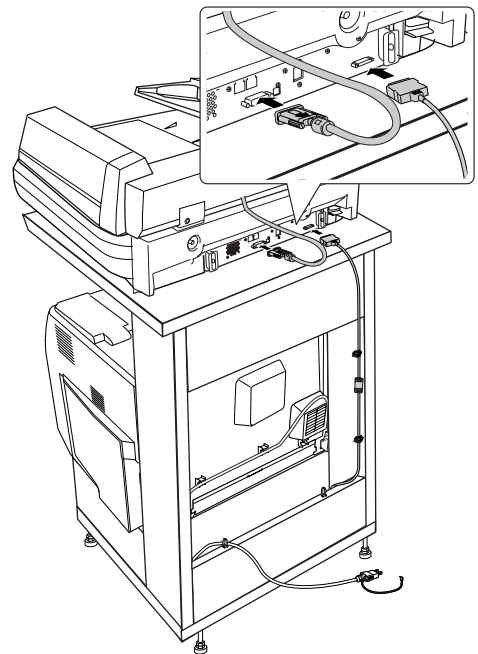
！注意

- 装着する際、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。
- 逆差ししないように注意してください。

7 背面カバーを取り付けてから、ネジで固定します。



8 取り外したケーブル類を接続します。



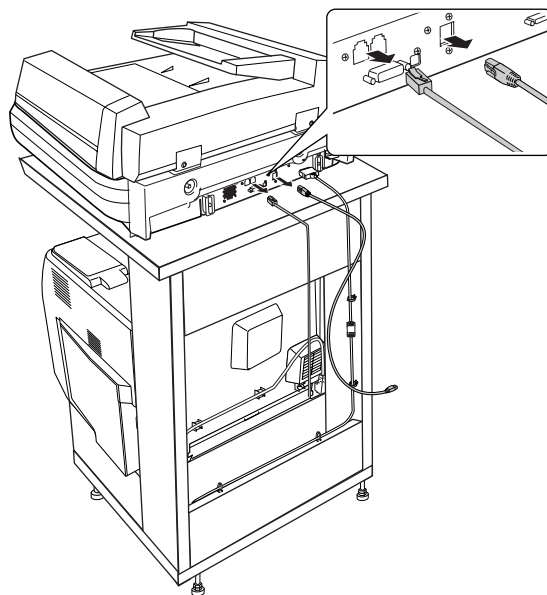
9 電源コードをコンセントに差し込んで、本機の電源をオン (I) にします。

操作パネルにファックスエラーが表示されますので、[スタート] ボタン (カラーまたはモノクロ) を押してエラーを解除します。

次にファームウェアとファックス制御プログラムの更新作業を行います。

3. ファームウェアとファックス制御プログラムの更新

- 1** 本機に電話回線およびネットワークケーブルが接続されている場合は取り外します。

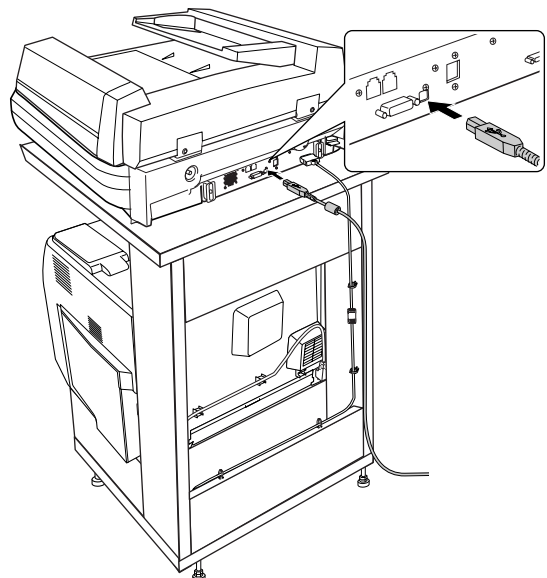


- 2** 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続します。

参考

[新しいハードウェアの検索ウィザード] が開始した場合は、コンピュータにプリンタドライバがインストールされていれば自動的に終了します。

終了しない場合は一旦 [新しいハードウェアの検索ウィザード] をキャンセルして USB ケーブルを取り外し、プリンタドライバをインストールしてから再度 USB ケーブルを接続してください。



- 3** コンピュータに本製品添付の CD-ROM を挿入します。

- 4** ファームウェアとファックス制御プログラムの更新作業を行います。

Windows の場合は、画面の指示に従います。

Mac OS の場合は、下記の手順でファームウェアとファックス制御プログラムを更新します。

- ① [本体ファームアップグレード] フォルダをダブルクリックし、EPCPROC.app をダブルクリックしてファームウェアを更新します。
- ② [Fax ボードアップグレード] フォルダをダブルクリックし、EPCPROC.app をダブルクリックしてファックス制御プログラムを更新します。

- 5** 完了画面が表示されれば、ファームウェアとファックス制御プログラムの更新は終了です。

4. アップグレード完了の確認

以下の手順でステータスシートを印刷して、アップグレードが完了したことを確認します。

- 1 操作パネルの [各種設定] ボタンを押します。
- 2 [設定モード] で [プリンタ設定] を選択して [▶] ボタンを押します。
- 3 [プリンタ情報] を選択して [▶] ボタンを押します。
- 4 [ステータスシート印刷] を選択して [▶] ボタンを押します。
- 5 印刷されたステータスシート 2 枚目中段の [FAX セッテイメニュー] でバージョンが [01.14] と表示されており、下段に [IA1964] と表示されていればアップグレードは完了しています。

FAXセッテイメニュー	01.14
ハバージョン	PSTN
カイセンシユベツ	トーン
タイヤルシユベツ	
シキョクハソコウ	YY/MM/DD
ヒツケセウシフオーマツト	2
スヒカオンリョウ	ニホン
シヨウコクセッテイ	0
オートリダイヤルカイスウ	On
ハツシモトインシ	ナシ
ユウセンソコウサイス	シトウ
キョウシクチ	Off
リョウメイインサツ	Off
シユンモート	シトウスイッチ
ソトワケデソウヨビダシカン	10
シトウシユクソウ	On
エウインサツクニ	Off
ツウシレホート	Off
ソウシレホート	エラーシノミ
トウホウレホート	ナシ
カシツ	セイイ
ノウト	0
ケンコウサイス	シトウ
ADFリョウメン	カタメン
カイガソウシンモート	Off

IA1964**V0E0MC0000000011 37P000000001550525 JC000005IC000000000001 000000000000
SEIKO EPSON CORPORATION F

5. バックアップした宛先登録データの読み込み(Windows 環境のみ)

- 1 本機と先ほど宛先登録データのバックアップを取ったコンピュータをUSBケーブルで接続します。
- 2 [スタート] – [すべてのプログラム] (または [プログラム]) – [EPSON Speed Dial Utility] – [Speed Dial Utility] をクリックします。
- 3 EPSON Speed Dial Utility から宛先登録データを本機に取り込みます。操作方法の詳細については、EPSON Speed Dial Utility のヘルプを参照してください。
- 4 短縮登録リストを印刷して、宛先登録データが本機に読み込まれたことを確認します。

参考

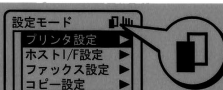
短縮登録リストの印刷方法

- ① [ファックス] ボタンを押します。
- ② [拡張] ボタンを押してから、[FAX 情報] を選択して [▶] ボタンを押します。
- ③ [短縮登録リスト印刷] を選択して [▶] ボタンを押します。

以上でファックス機能のアップグレード作業は終了です。

下記のシールが本体に貼ってある場合は、はがしてください。

注意



このマークが表示されているときは、受信ファックスデータが残っています。この状態で電源を切ると受信データが消去されますのでご注意ください。エラー/ワーニング発生時は、[各種設定]ボタンを押して、このマークが表示されているかどうかを確認してください。

>PP<